

# 小山市・絹中生徒が看護師体験

職業体験を通して将来の仕事や働くことの意義について考えようと、小山市立絹中学校の2年生4人が11月12、13日の2日間、城西病院を訪れて、看護師の仕事を経験しました。体験したのは、赤荻羽純さん、田中菜都美さん、前島紫織さん、渡邊聖典さん。

4人はまず、病院内を見学しました。外来や事務室、検査室、手術室、城西総合健診センターなどの施設を訪問。放射線部では高速X線CTスキャナーに実際に寝て、検査の状態を疑似体験しました。

看護師体験は、回復リハビリ病棟で行いました。看護師から、仕事の内容を聴いて、車いすや水銀計による血圧測定、聴診器など、看護師がふだん使っている機器類を見たり、実際に体験したりしました。仕事では、食事を運ぶのを手伝ったり、看護の様子を見学したり、患者さまと話をしたり、貴重な時間を過ごしました。

渡邊君と赤荻さんは「患者さんが入院前にしていた生活と同じ生活が送れるように、看護師さんが工夫しているのに驚いた」と話し、前島さんと田中さんは「患者さんと看護師さんの関係が想像以上に近く、親しく接していた」と感想を話していました。そして働くことについて渡邊君は「まず、生きるため。そして社会や人のために、誰かを幸せにするために働いています」と話していました。

平成 27 年 11 月 14 日



リハビリの様子を見学

血圧を測る生徒



CTスキャナーを疑似体験



患者さまと話す生徒たち



車いすを体験する生徒たち